

明高だより

明石市荷山町 1744
TEL(078)911-4376

一年総学講演会

予測困難な社会において様々な変化に積極的に向き合い、他者との協働により持続可能な社会を実現するためには、自ら考える姿勢を持ち、教科的な学習を日常や身近な出来事と関連させて考えることが重要です。そのための方策が小論文であり、一年生の総合的な探究の時間を利用し、第一学習者から講師を招いて小論文ガイダンスを実施しました。

小論文と作文の違い、小論文に取り組む手順、課題の理解と論点の整理、要約のポイント、情報の収集、主題提示型と問題解決型の手法等について資料をもとに講演していただきました。最後に、分野別推薦図書も紹介していただきました。



美術科大学体験授業

十月三日(土)、美術科一年生が京都伝統工芸大学校を訪問しました。

これは、大学専門学科で実際に実技の体験授業と体験実習を行うことで、美術の専門学習のあり方を学ぶとともに、二年度以降の専攻選択に資することを目的として毎年実施しています。



生徒達はそれぞれの興味関心に応じて、陶芸Ⅱ電動ロクロ体験、木工Ⅱ木を遣った伝統工具体験、漆芸Ⅱ小皿への絵付け体験、染織Ⅱ友禅の技法と制作体験、金属工芸Ⅱ鋳造の技法とペーパーナイフづくり体験、竹工芸Ⅱ竹かごづくり体験の中から一つを選択し、真剣に取り組んでいました。



神戸大学オンライン講義

高大連携接続事業の一環として、本校が連携する神戸大学とのオンライン講義を、十月二十日(火)に実施しました。

講義は、同大学医学部大学院保健学研究科の前重伯壮助教による、運動器疾患が原因の様々な運動機能障害や運動の異常を扱う理学療法について、その治療アプローチに係る手法を主とした内容でした。理学療法は物理的治療法及び運動療法によって身体の機能回復を図るもので、他のすべての医療分野と直結しています。近年、療法機器及び技術の開発・進歩は目覚ましく、ミラーセラピーや超音波・電気刺激による治療法なども開発されています。生徒達は、「物理学と医学との密接な関わりを認識できた」「人を対象にした臨床研究について理解が深まった」「研究データの処理法は参考になった」といった感想を述べていました。



課題研究中間発表

理数探究類型では、今年度より「ひょうごスーパードームハイスクール」の研究指定を受け、大学や企業等と連携して五分野(生物・化学・物理・数学・情報)の課題研究に取り組んでいます。十月に各班が中間発表プレゼンテーションを行いました。どの班もレベルが高く、パワーポイントを駆使したすばらしい発表でした。主な研究テーマは、以下の通りです。

「効率のよい果物電池の作製」
「電流を生み出すレモンの力」
「アルコール発酵の最適条件」
「微生物のエネルギー発生源を探る」
「輻射熱吸収の色依存性」
「快適な制服デザインの新展開」
「モンキーショット」
「検証実験の新たな提案」
「神聖幾何学模様の世界」
「数学に生命誕生の秘密を見出す」
「Pythonを使った音声出力」
「文字を声に変えるシステム開発」



部活動大会結果

新チームがスタートしたものの、新型コロナウイルスの影響を受けて十分な練習時間を確保できない状況下ですが、多くの部が好結果を残しています。

- 近畿水泳大会
- 女子百M背泳ぎ 第七位
- 兵庫県民大会
- 男子ソフトボール 優勝

- 東播新人剣道大会
- 男子個人 優勝
- 女子個人 優勝・準優勝
- 男子個人 第三位・2名
- 男子団体 優勝
- 女子団体 優勝

- 東播秋季ハンドボール大会
- 男子 準優勝
- 女子 優勝

明石高校ホームページ



[明石高校]で検索

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/>
活動の内容は兵庫県立明石高等学校ホームページでご覧いただけます